



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 日本ピグメント株式会社
 コード番号 4119 URL <https://www.pigment.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 龍巳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部担当 (氏名) 今井 信一
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6362-8801

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	11,921	10.0	346	38.0	342	11.2	211	9.4
30年3月期第1四半期	10,834	10.7	251	114.5	307	146.2	193	628.3

(注)包括利益 31年3月期第1四半期 179百万円 (△72.2%) 30年3月期第1四半期 646百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	135.00	—
30年3月期第1四半期	123.32	—

(注)当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	32,678	14,269	41.0
30年3月期	31,077	14,231	42.8

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 13,398百万円 30年3月期 13,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	80.00	80.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,500	2.8	450	47.5	450	14.0	300	13.5	191.04
通期	45,800	△0.9	1,080	15.1	1,100	0.4	700	3.3	445.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	1,575,899 株	30年3月期	1,575,899 株
② 期末自己株式数	5,837 株	30年3月期	5,812 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	1,570,071 株	30年3月期1Q	1,570,435 株

(注)当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(追加情報).....	8
(セグメント情報等).....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、個人消費や設備投資の持ち直し等を背景に緩やかな回復基調が続き、世界経済におきましても景気は緩やかに回復しておりますが、米国の経済政策が今後の世界経済に与える影響も懸念されております。

このようななか当社グループにおいては、国内での樹脂コンパウンド需要及び樹脂用着色材需要の堅調を背景に良好な業況推移となっております。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は 119 億2千1百万円(前年同期比 10.0%増)、経常利益は3億4千2百万円(前年同期比 11.2%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億1千1百万円(前年同期比 9.4%増)となりました。

当社グループのセグメント業績は次のとおりであります。

日本

国内部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、自動車産業向けエンジニアリングプラスチックを中心に堅調に推移し、想定を上回りました。

樹脂用着色剤部門は、一部のフィルム関連および繊維関連等が比較的堅調に推移し、部門営業利益は想定を若干上回る結果になりました。

最後に、加工カラー部門は、自動車産業向けは底堅かったものの建材産業向け等が伸び悩み、想定を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は 74 億3千万円(前年同期比 16.4%増)、営業利益は3億4百万円(前年同期比 140.1%増)となりました。

東南アジア

東南アジアは、前期に続き家電産業向けの受注が好調であったものの、自動車産業向けで伸び悩んだことから全体としては販売減となりました。当第1四半期連結累計期間の売上高は、為替の影響もあり 43 億2千4百万円(前年同期比 1.1%増)となりましたが、原材料価格急騰の影響もあり営業利益は7千5百万円(前年同期比 42.0%減)となりました。

その他

その他は、中国での日系自動車関連の受注が想定を下回り、当第1四半期連結累計期間の売上高は1億6千6百万円(前年同期比 2.4%減)、営業損失は3千2百万円(前年同期営業損失5百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は326億7千8百万円と前期末の310億7千7百万円に比べ16億1百万円の増加となりました。

資産のうち流動資産は160億5千3百万円と前期末の153億2千1百万円に比べ7億3千2百万円の増加となりました。この主な要因は現金及び預金が5億2千6百万円、製品が1億7千7百万円それぞれ増加したことなどによるものです。固定資産は166億2千4百万円と前期末の157億5千6百万円に比べ8億6千8百万円の増加となりました。この主な要因は有形固定資産が5億6千5百万円、投資有価証券が2億1千5百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

負債合計は184億9百万円と前期末の168億4千5百万円に比べ15億6千3百万円の増加となりました。負債のうち流動負債は138億1千2百万円と前期末の130億9千万円に比べ7億2千1百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が1億7千5百万円、賞与引当金が1億2千3百万円、その他で5億6千5百万円それぞれ増加したことなどによるものです。固定負債は45億9千6百万円と前期末の37億5千4百万円に比べ8億4千1百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入金が7億4千3百万円増加したことなどによるものです。

純資産合計は142億6千9百万円と前期末の142億3千1百万円に比べ3千7百万円の増加となりました。この主な要因は利益剰余金が8千6百万円、その他有価証券評価差額金が2億1千3百万円それぞれ増加し、為替換算調整勘定が1億9千8百万円、非支配株主持分が7千4百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期における第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,241,218	2,767,509
受取手形及び売掛金	7,964,305	7,879,735
製品	2,473,286	2,650,621
原材料及び貯蔵品	2,255,327	2,276,686
その他	387,729	479,739
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	15,321,566	16,053,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,571,749	2,513,772
土地	3,871,007	3,854,288
その他(純額)	2,790,087	3,430,038
有形固定資産合計	9,232,844	9,798,098
無形固定資産	212,310	238,476
投資その他の資産		
投資有価証券	5,612,245	5,827,783
その他	712,989	774,653
貸倒引当金	△14,265	△14,265
投資その他の資産合計	6,310,970	6,588,172
固定資産合計	15,756,125	16,624,747
資産合計	31,077,691	32,678,740
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,230,707	7,406,164
短期借入金	3,734,593	3,627,183
未払法人税等	160,440	124,954
賞与引当金	190,329	313,607
その他	1,774,898	2,340,825
流動負債合計	13,090,969	13,812,734
固定負債		
長期借入金	2,334,772	3,078,256
繰延税金負債	936,308	1,034,261
退職給付に係る負債	420,043	420,206
その他	63,662	63,662
固定負債合計	3,754,786	4,596,386
負債合計	16,845,755	18,409,120

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,033,980	1,033,980
利益剰余金	9,290,916	9,377,272
自己株式	△17,847	△17,940
株主資本合計	11,788,208	11,874,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,988,144	2,201,408
為替換算調整勘定	△323,955	△522,941
退職給付に係る調整累計額	△166,093	△154,351
その他の包括利益累計額合計	1,498,095	1,524,115
非支配株主持分	945,631	871,031
純資産合計	14,231,936	14,269,619
負債純資産合計	31,077,691	32,678,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	10,834,060	11,921,988
売上原価	9,854,682	10,810,719
売上総利益	979,377	1,111,269
販売費及び一般管理費	727,912	764,285
営業利益	251,465	346,983
営業外収益		
受取利息	875	729
受取配当金	34,218	37,573
持分法による投資利益	24,482	—
為替差益	9,815	—
その他	20,364	14,084
営業外収益合計	89,756	52,386
営業外費用		
支払利息	24,580	24,787
持分法による投資損失	—	4,205
為替差損	—	18,906
その他	8,857	9,364
営業外費用合計	33,438	57,263
経常利益	307,783	342,106
特別利益		
固定資産売却益	264	299
特別利益合計	264	299
特別損失		
固定資産除売却損	864	1,323
特別損失合計	864	1,323
税金等調整前四半期純利益	307,183	341,082
法人税、住民税及び事業税	101,658	130,272
法人税等調整額	△12,445	△4,579
法人税等合計	89,212	125,692
四半期純利益	217,970	215,390
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,289	3,427
親会社株主に帰属する四半期純利益	193,681	211,963

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	217,970	215,390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	320,106	213,263
為替換算調整勘定	△101,732	△350,313
退職給付に係る調整額	18,460	11,957
持分法適用会社に対する持分相当額	191,529	89,297
その他の包括利益合計	428,363	△35,795
四半期包括利益	646,333	179,594
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	652,332	237,983
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,998	△58,388

(3)【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,385,206	4,277,955	10,663,161	170,898	10,834,060	—	10,834,060
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62,988	127	63,115	—	63,115	△ 63,115	—
計	6,448,194	4,278,082	10,726,276	170,898	10,897,175	△ 63,115	10,834,060
セグメント利益又は損失(△)	126,649	130,183	256,833	△ 5,367	251,465	—	251,465

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,430,200	4,324,953	11,755,153	166,834	11,921,988	—	11,921,988
セグメント間の内部 売上高又は振替高	88,746	—	88,746	32,115	120,861	△ 120,861	—
計	7,518,947	4,324,953	11,843,900	198,949	12,042,849	△ 120,861	11,921,988
セグメント利益又は損失(△)	304,134	75,444	379,579	△ 32,596	346,983	—	346,983

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。